

# 境港市図書館協議会 会議録

平成 31 年 1 月 25 日

境港市図書館協議会（平成 31 年 1 月 25 日協議会 会議録）

召集年月日 平成 31 年 1 月 25 日 15 時 30 分  
召集場所 第 1 会議室（市役所 2 階）  
開 会 15 時 30 分  
出席委員 甲斐 清明 門脇 規矩子 畠山 陽子  
濱田 照美 松本 信子 山本 美千枝

説明のために出席した者

教育長	松本 敏浩
生涯学習課長	黒崎 享
市民図書館長	松本 修一
課長補佐兼生涯学習係長	濱田 潤

説明以外の出席者 なし

傍 聴 者 なし  
会 議 書 記 濱田 潤  
報 告 事 項 ・平成 30 年度事業等について  
意見交換 ・（仮称）境港市民交流センター 図書交流広場について  
そ の 他  
閉 会 17 時 15 分

(15:30 開会)

- 生涯学習課長 <開会>  
会長 <挨拶>  
生涯学習課 <報告（平成 30 年度事業等について）>  
委員 利用者数と貸出状況はどんな違いですか。  
生涯学習課 利用者数は、本を借りた人の数です。貸出状況は、借りた冊数です。  
会長 1 人 12 冊で、2 週間借りることができますか。  
生涯学習課 1 人 5 冊で、2 週間です。  
生涯学習課長 読書活動推進大会の開催時期ですが、今まで 11 月の終わりに開催して  
いましたのは、小学校の図工作品展が市民会館の大会議室でやっており、  
それに時期を合わせていました。図工作品展を見に来られた方に、読書  
活動推進大会にも来ていただく。一方では、中学校や高校が試験期間で  
あり、来ていただくことが出来ませんでした。今回は、市民会館があり  
ますので、時期を合わせる必要がなくなり、時期を議論して、中学生  
や高校生が来る事が出来る時期ということで今回のようになりました。  
暫くは、こういった形で出来るのではと思っています。
- 会長 中学生や高校生がどうやったら参加出来るかが懸念材料でしたが、今  
回初めて高校生がパフォーマンスまでしてもらえたことが、とっても感  
動的でした。
- 生涯学習課長 手話パフォーマンスについては、全国大会が米子でありまして、大会  
で披露したものをさせていただいたと聞いています。なかなかお目にかか  
れる機会が少ないので、高校生も発表する場が色々あると良いのかなと  
思っています。今後も色々な形で参加していただけたらと思っています。  
ビブリオバトルを廊下で聞いていただけですが、その話を聞いてどの  
本を読みたいか自分で考えるということがなかなかない機会だと思いま  
すので、中学校でもこういった活動をされているようですので、中学生  
にも参加していただくことも良いのかなと思います。広げていければと  
思っています。
- 会長 本の紹介を 1 人ずつがして、紹介をした中でどの本を一番自分が読み  
たいかなと最後に投票して決めます。全国的に広がりつつあり、鳥取県  
では高校の県大会がありまして、それから全国大会に繋がります。図書  
館の中でもビブリオバトルで、読書を豊かにしていこうとだんだん広が  
っています。今回、『境港読書会「の場所」』というグループさんが是非  
とも読書まつりの中で、ビブリオバトルをやってみたいと声が上がって  
きて、これは読書まつりを企画する会にとっては嬉しいことでした。い

つも私たちが考えて、「これしてもらえませんか」「あれしてもらえませんか」という形でしたが、市民の方からこれをやってみたくあつたことがとても嬉しかったです。本の大好きな方々が 1 人ずつ本を紹介するという形で熱いバトルをされて良い刺激になったのではと思います。

委員  
会長

ビブリオバトルをするには、指導者がいますか。

指導者はいませんが、司会者とか、時間を図る方がおられれば、5分以内で本を紹介してください。2分間が質問の時間です。その中で繰り広げられる。時間を争うようなスリルがあります。

委員  
会長  
委員  
会長

楽しそうですね。

楽しかったですよ。私も投票をさせていただきました。

見学者も投票出来ますか。

見学者と紹介者が投票します。

小学生でも出来ますので、輪が広がればいいなと思います。

委員  
会長

時期って難しいですね。渡地区は 3 世代の餅つき大会がこの日にあり、足が運べませんでした。

毎年、いつにするか悩みます。連合作品展にいつまでも縛られてはいけないと思いますが、せつかく市民会館に来られるなら、そのついでに来てもらおうという呪縛からなかなか解けないで、ずっと過ごしてきました。作品展には、何ら関係がなかった。去年が 350 人です。手話パフォーマンスには、出演者のお友達やご家族の方などたくさん来られたと思います。ビブリオバトルも本を紹介する人の家族が皆来て応援しておられました。そういう繋がりもあって賑わったのかもしれない。写真展示では、境小学校の 6 年生が境港の風景を自分たちで写した写真がありました。いつもは写真クラブの方と市民の方からの写真ですが、今回は小学生も参加出来たことは良かったです。また、図書館が「お出かけ図書館ウォッチング 読んでみる？」という、図書館が 1 部屋全部を使って、「境港市出身の作家の作品」、「アニメや映画になった原作本」、「サッカーのユニフォームの展示」など図書館のプロの司書が情報を集めて本の紹介をする部屋というのはとても良かったです。講演会もちょうどタイムリーで、今までは作家の方とかの講演もありましたが、最近では図書館に関する、図書館長さん等の講演を近年はしていました。今回は、隠岐の島の海士町の司書さんにおいでいただきました。2,300 人ほどの小さな町の図書館ですが、図書館のみでなく島全体を図書館にしてしまおうと 40 か所くらい。学校や公民館のみでなく、人が集まる船着き場や歯医者など、そういった場所にたくさん図書館の本を置いて、返却ボックスも様々などところにおいて、図書館まで行かなくても気軽に本の貸

し借りが出来るという素敵なお話でした。感想も「素敵なお話でした。境港市の図書館にも生かせると良いですね」という声をたくさんいただきました。

館長 入館者の数字を改めて見てみますと、入館者が激減で、実際に電話をかけていても電話が聞こえない。揺れるとか、水道の中にごみが入って何度も業者を呼ぶという状況があって、目安として 200 人を切る日が多いです。土日は工事をしませんので、平日の工事が激しいときには、「うるさい」と話をいただきました。それが数字に顕著に表れていると感じています。以前は、分館の 1 階で「古文書を読む会」等をしていました。会に来られて、その後に本を借りに来られる方がありました。ところが、上道公民館に変わりましたので、それが影響しているのかなと思います。大きな数だと思います。

会長 工事が無い時には、どのくらい来られていましたか。  
館長 目安として、月に 25 日か 26 日くらいですので、入館者が 5000 人を切るということは、200 人を切っている。通常であれば、26 年度・27 年度・28 年度くらいの数は推移していますので、普段であれば 6000 人から 7000 人はいかないといけなかなと思っています。

教育長 入館者については、工事の影響がありますから、減るのはやむを得ない。それから学習室を閉じていますので、その数が違うと思います。ただ、私が感心していますのは、利用者数が、本を実際に借りている人の数は変わっていない。それから、貸し出されている冊数も変わっていない。だから、本を借りて家で読む方の数は変わっていない。依然として、そのような方には図書館を利用していただいているということだと思います。暫くは、この状態は続くだろうなと思います。

会長 建築をしだすとまた音がしますかね。

生涯学習課長 すると思います。

館長 私が聞いていますのは、基礎工事の時が一番激しい。建ち始めたら、また違う振動等があるかもしれませんが、大きいのは基礎工事の時だと聞いてはいます。

生涯学習課 <説明（(仮称)境港市民交流センター 図書交流広場について）>

委員  
館長  
委員

今は、ボランティアを業務的にしてもらっていることは、ありますか。ないです。

以前、私の妻が図書館でボランティアをしていました。何人か誘って。司書が忙しすぎて、ボランティアにこれをしてくれと指示が出来ない。ボランティアをしてもらうにも司書さんが忙しすぎて、手が回らないという気の毒な状況がありました。ただ、色んなよその地域の図書館を聞くと、大勢のボランティアに来ていただいて、支援をしてもらっているとあちこちで聞きますが、境港市の場合、司書さんが非常に忙しく、ボランティアさんに手が回らない。これは、司書を充実させる。それから、新しく雇用された司書については、大体10年やらないと1人前ではないと言われますが、仕事の内容が。折にふれては、新しい司書を研修に行かせる。司書を育てていく。それから、ボランティアがたくさん来るということは、図書館活動を市民の中に広げていくことと連動しますので、将来そういうことを考えていただければ良いと思います。

会長

今、最低の人数の司書さんと館長さんで回っている状況だそうです。研修にも行く余裕がない。1人研修に行くと、後が回らない。自分が研修に行ったために皆に迷惑がかかるという空気があるようで、研修で力をつけることが出来ません。境港の図書館は本を貸し出す以外は、「古文書を読む会」や「お話し会」くらいで、図書館自体が講演会をしたりとか、講座をしたりとかそういうことも出来なかったもので、当たり前の図書館がこの事業方針全部です。ですから、ここまでの司書さんの力をつける。レファレンスもすぐに出来るという力をつけるためには、3~4年期間があるので、それは良かったなと思っています。少しずつ司書さんの数も増やしていただかないといけませんし、館長さんを始め正職化。皆囑託でというのは、今の時代ありませんし、司書の資格を持った方で、本当の意味での図書館の事業をしていただきたいと思っています。少しずつ司書さんを増やして、来年1人とか、また次の年2人とかそういう風に行政の方への働きかけを、この委員会の中でもそういう風に陳情していければいいと思います。

委員

昔の話ですが、新しくパートで、腰掛的に採用された短大でたばかりの女性が来られました。けども、しっかり仕事を教える余裕がない。司書さんも忙しく、なかなか手取り足取り出来ない。その際、古い利用者が来て、その女性に「これこれの本を探してくれ」と言ったところ、「カードで調べて下さい」と言いました。ものすごく怒られて、館長室に怒鳴り込んできて、「どういう姿勢でやっているか」と言われました。そういうこともありまして、若くて初めて働く人は、現場は初めてですから、教育し

たり・育てたりということは、手間も時間も人間も労力もかかりますが、本当に基本的なことから大事に育てていただきたいなと思います。

会長

この文言が上っ面でなく、これだけの力を持っている図書館で3~4年後にスタートしてほしいなという気持ちを持っています。3~4年後、充実した図書館にしていきたいなと思います。

委員

8番の「学校や公民館などを活用した環境整備に努めます。」というところですが、移動図書館の構想はありませんか。渡地区や外江地区は図書館から遠いです。前の公民館長が移動図書館があると良いなと要望したことがありました。なかなか予算的にとありました。

生涯学習課

会長もこの会議で発言いただいており、考えないではなく移動図書館も必要かなと考えています。移動図書館をするにしましても、車の問題や人の問題も出てくると思います。移動図書館をするのは、利用者にとって良いことだとは思いますが、予算的なことも含めて考えていけないと思っています。移動図書館は、郡部や市域が広いとか、図書館まで行けないとかそういったところが導入しているケースが多くて、本市はどちらかと言いますと市域が狭くて、図書館に行こうと思えばはまループバスもあって、条件的には恵まれているとも思っています。それに代わるものとして、公民館とか学校をここでは挙げさせていただいていますが、移動図書館を含めて考えていけないといけないと思っています。

委員

公民館とか窓口に来られて、こういう本が借りたいとおっしゃったら、ネットで連携してしたら良いとは思いますが、今回色々な要望を聞いて下さいと言われた時に、やっぱりちょっと移動図書館を言われた方がおられたので。

生涯学習課

他の地域を見てみますと、2週間に1回とが、月に1回とかなっているようです。また行くとしたら、公民館ともう1か所公園とか自治会館とかになると思います。

委員

公民館1か所でも良いと思います。学校ですと、2階にありますので、高齢者の方は階段があり、行きにくくなります。公民館は利用しやすいと思います。

教育長

交流センターが出来れば、素敵な図書館が出来てたくさんの人に来ていただくとと思いますが、行きたくても行けない人はどうしてもいます。今話題に出ています高齢者の方もそうですし、病院に入院しておられる方も施設に入っておられる方も本当は行ってみたいが行けない。そういった方へのサービスをどうして行くのかっていうのが、これからのまちづくりで課題になってくるのかなと思っています。その中で、移動図書館という提案は、今回良かったのは、海士町の磯谷さんのお話の中で、何千万もする立

派な車でなくてワゴン車だと、それで自分たちは回っている。それで私は良いかなと思っています。公用車 1 台をいかに確保するかという問題を今後検討していかないといけないかなと思っています。

委員 病院に入院している患者さんの話をすぐ思いますが、皆さんから寄付していただいた本を借りることが出来る場所がありますが、開院依頼ずっと同じ本が並んでいる。それを入れ替えることが出来ないかなと考えると図書館とのやり取りで出来ないかなと考えています。やっぱり借りられる人もありますので。

館長 2 年前に済生会へ 1,000 冊くらい本を持って行きました。それが動いていません。新たに複本などを持って行くなど、なんらかの形で考えていくのかなと思っています。

委員 その他、高齢者の入所施設や「光洋の里」とか本を読める方もおられます。

教育長 そういった施設の方ともお話をしています、「こんなことも出来ますよ」と言いますと「それは良いな」と言われますが、その後、進めていませんでした。もう少し図書館側が売り込んでいかないと実現出来ないかなと思っています。また、職員のレベルを上げることが一番大切なことだと思っています。私が図書館のことについて、最初に勉強したのが県立図書館の課長からお話を聞いたのですが、真っ先に言われたのが「図書館は施設ではない。機能だ」と言われました。「施設は古いのも新しいものもある。要は、どんな機能を発揮するのか、それは人ですよ」というお話が一番印象に残っています。職員をどう研修させるかということが、境港のなかでは 1 つ課題になっています。その課題は、委員がおっしゃったようになかなか研修に行く時間がないということもありますし、そういった意識が職員にもあります。自分たちは、研修に行けないという意識もあります。そこを変えていかないといけない。良いことにマイナスの部分ですが、今利用者は減っています。入館者が減っている。であれば、今が研修するチャンス。この 3 年間。そこで、どうそういった機会を作っていくのか。ある程度割り当てて、この研修は何人が行ってくださいとしないと、職員は自分の方から行かして下さいとなかなか言いづらい部分もありまして、そのあたりを考えて出やすい環境をどう作るかということが必要かなと思います。それから、ありがたいことに県立図書館が常に全国の有名な図書館に行く時には境港に声をかけて下さいます。「今度も行くで」とこの前も言っていただきました。とっても良い図書館と新しいけど機能していない図書館と両方見てもらう。その中で何を感じるのかという、そういう提案があつてお願いしますよと話をしていますので、そんなのにうまく乗

っていくことも大切かなと思っています。

館長

今言われたことは、最もなことですが、内部として、研修に行かせることについて、今4人体制でローテーションを組んでいます、3人にすると負担がかかってきます。だから、今こういう研修があるよと県立さんの方で主としてやっていますが、出来るだけ近いところに半日程度で行けるものについて行ってもらいたいと、それ以外の1日ある研修については、出来るだけ第2木曜日の閉館日であるとか長期のところでは全員が出席にして、さっき言ったような新しい施設に研修に行くということを今やっています。それと、1人が研修したことについてそれを申し送りしていく。そのようなことをやらないと、これも行けあれも行けということは組織の中で無理です。研修に出たら、他の日に休んで下さいと言いますが、実際に休んだら他の者に負担がかかっていくわけで、その辺のところの兼ね合いを考えていかないといけない。全く行かしてないわけではなくて、行かしているがそれをいかにして他の職員に研修を広めていくかを考えていかないといけない。今の職員のスタッフの中で例えば一斉に集まって情報交換がなかなか出来にくい現状があります。情報交換をしなければいけない、また、研修に行かないといけない。その時間も規則の中で保証していかないといけないジレンマがありまして、そこを理解していただかないといけない。あれもこれもという訳にはならないと現場としてはあります。

教育長

確かにそうだと思います。ただ、工夫で職員を研修に行かすことが出来ないなら、講師を呼べばいいです。県立図書館は無料で来ますので、今考えればもっと閉館にして行くということも考えて良いのかなと今は思っています。ただ、絶対的な人数が足りないことは確かで、であれば研修も出来る人数を確保するためには、職員が何人必要かそこを要求していかないと同じ事が繰り返されます。そういった管理運営計画であってほしい。これで予算をとっていく訳ですので、そういったものを議論して、特に個人の意見で増やせと意見は聞きますが、個人の意見はおそらく予算に反映できません。一番、予算に反映出来るのは図書館協議会。ここが一番図書館のことを考える境港の組織です。ここからこういった案が出たというのは、市長や副市長や財政に話がし易い訳です。そこから具体的に増やせ増やせではなくて、何人体制じゃなくては駄目だという要望を是非出していきたいな、そのような議論をしていただきたいなと思います。

委員

サポータークラブの話が出ていますが、すぐに来ていただいて、はいどうぞという訳にはいかないので、ある程度の期間を設けて、本の貸し出しや受け取りなどのこなし業務ぐらいは出来るのではないかなと思います。

- 館長                   カウンター業務はすぐには難しい部分がありますので、本の整頓とか司書のお手伝いの部分は出来るのかなと思いますが、いずれにしてもやるということであれば、スタッフを集めて研修の時間と場所を確保しないと、すぐには無理なのかなと思います。
- 委員                   カウンター業務はレファレンス力が必要となりますので、素人の方は無理だと思います。ただ、色んな雑務。単純作業的なことはたくさんあり、司書が全部やっています。良い具合に組織出来れば、司書の仕事も少しは軽減出来る手助けになります。
- 会長                   スタッフが揃ってきたら、これとこれはサポータークラブにお願いしようという枠も見えてくると思います。それから募集となるのかなと思います。
- この委員会の中で意見を吸い上げていただくのは、まずは人の問題です。3~4年後にこの事業の全てがちゃんと出来ないといけない。普通の図書館にならないといけない。「なんにも出来ません。」、「人数も少ないです。」、「これはただの謳い文句だけです。」ではいけないと思います。ここまでのことをしていくためには、何人必要ですとお願いしないといけない。来年度から1人ずつでも人が増えていくことは出来ないのですか。
- 教育長               この計画が出来てこないと、むやみに人を増やしてとは言えません。
- 会長                   総務課と交渉する時のために、この事業計画が必要となるので、ぼんやり書くのではなく、具体的に書いて下さいと言ったのは、そのためです。例えば、移動図書館は来年からでも出来ると思います。市役所にあるバンにコンテナをいくつか積んで、人が集まるところに行くのです。公民館でなくても、ふれあいの家や百歳体操をしているところに持って行けば、皆が元気になろう、脳の活性化を図ろうと集まっておられます。図書館が近くにある所に住んでいる人は認知症になりにくいというデータも出ているそうです。境港が援助するのは「ふれあいの家で人との交流」、「百歳体操で元気になる」、プラス「脳の活性化を図るための読書サービス」もするという3点セットでもっていかれたら、一緒に貸し出しも出来ますし、そこで2週間後までに「編み物の本をお願いね」とか出来ますので、良いんじゃないかなと思います。
- 教育長               移動図書館も来年から出来るものでもありません。人が足りませんので。
- 会長                   まずは現状でやってみて、そうすると運転手もいる。バンも図書館用にいるということが、お願い出来る。これだけの人が借りているのに、とても現状の司書の人数では回れない。データが出れば交渉がし易いですよね。色んな所に持って行ってみる。人が集まるところに持って行ってみるとい

うことを少しずつでも始めれば、来年・再来年にこれだけの利用者がありましたとデータが出ます。数値は、交渉に使えます。レファレンスでも、水産業に関心のある方が境港に来られて、境港にはどれだけの会社がありますかと言われて、境港の水産業のパンフレットが全て揃っているとするためには、全部の企業を歩いてパンフレットをいただいて回らないとならない。資料を集めるのにもものすごく人と時間がいります。そのためだけにでも人は増やさないといけない。

教育長                    すぐに人を増やすことは難しい。市民図書館の業務分担表を最初に見せていただきましたが、こういったものを抜本的に変えていかないといけない。そういったところをきちっとやりながら、財政担当と交渉をしないと夢物語だけでははじかれます。

委員                      他の方にも話が及ぶかもしれませんが、今の会長の色んな説明は非常に説得力がある。本当にそうだなと思います。また、それを実現することがどんなに難しいかということが、教育長が非常によく分かっておられると思います。だけど、会長が言われたことをカチッとまとめて、よつてもう今の人間では理想的なことは回らないということを教育長の方からも尽力していただきたい。関連してですが、学校との幼稚園・高等学校も含めて、市民図書館との関係・交流です。その基礎として最近あまり聞かないですが、市内の小中高校で今でも朝の読書を学校でやっているのはどれくらいありますか。

教育長                    朝読はどこもやっています。

委員                      朝読は、子ども達あるいは生徒たちが読書・文化活動に対して啓発する基礎的な取り組みです。学校から朝読の成果を毎年図書館がもらう。図書館も各学校に朝読に対して、「こういうことが」あるいは「こういう図書」が有益だよみたいな朝読に関しての学校への発信。朝読を充実させることは図書館活動を充実させる一番基盤にあると思います。朝読と図書館との相互の交流・発信をさらに充実・拡充していくのが良いなと私は思っております。今は、どうでしょう。

館長                      学校からの要望に対して、例えば季節ごとに集めて、就学旅行の時にこういう教材を1クラス分とか、それぞれのテーマによって要望があった時には、それに答えています。朝読については、学校とやり取りはしますが、貸した本が朝読に使われているかどうかは確認が出来ていません。

委員                      朝読について、学校から集約したものをもらえば、図書館も中学生は今こういう傾向が好まれていると蔵書リストに反映出来るでしょうし、是非交流を密にしてもらいたいと思います。

会長                      市民図書館が朝読に関するアンケートを作られて各学校にこれに答え

てくださいという形ですかね。

委員 方法の1つだとは思いますが。

委員 今行っている朝読は、ボランティアで入って各教室に行ってその人が選んだ本を10分間そういう形です。

委員 各自が自分で黙読するのではないですか。

委員 読み聞かせになります。紙芝居をされる人もあります。

教育長 学校によって、曜日で読み聞かせの日と各自で自分の本を出して読む日と、時には勉強する日と色々です。

会長 学校によっては、毎日が朝読で1週間全部という学校もあれば、月・水・金が朝読で後の2日はドリルをする。ボランティアの方は大体1か月に1回という場合が多いです。

教育長 朝読を見ていますと、司書教諭の力量が出ます。子どもたちが選書出来ない。図書室に来て選書出来ないというあたりの差が学校によって違います。10分・15分の読書の時間がすごく充実している学校となんとなくざわざわしている学校と違いがまだ出てるなど感じます。

会長 「10分か15分さあ読みましょう」となりますので、それまでに「自分で本を持ってくる」とか、「朝読のために図書館で本を借りる」とか準備は個人個人で行います。

「図書館にどういう本を集めてほしいか」のアンケートを、それと、アンケートを取られるなら「教材としてどういう資料があったら良いか」のアンケートもあったら良いと思います。大体どこの学校もここの単元でこれを使うとなると一斉に7つの小学校が何月に水産業の資料を貸してくださいと重なります。そこら辺の兼ね合いが難しいと言っておられました。どこも図書館から資料を借りたら、その学年の廊下等にコンテナで水産業の資料等を置いて事業にどんどん使ってもらいます。図書館から借りるとなりますと、次の学校に早く回さないといけなくなりますので、なるべく必ず教材になるような本は自分の学校で買うようにしています。1セットだけではなく、2セット3セットあると余計に借りやすくなれば、そういうのも選書の対象となります。

委員 今小学校も全部司書教諭がおられますか。

教育長 います。

委員が高校で朝読を始められて、それから県全体がぐっと運動が盛り上がり、司書も配置されという時期と雰囲気は違いますのは、今学力問題が出たために、それも学校はしなければいけない。勉強もさせている。学校は忙しくなっています。

会長 人の問題も会議で出てきた。増員してほしいという意見は。

- 教育長 色々あって、何人くらい入れればいいのか。今は 200 人と館長さんの話がありましたが、新しい図書館なれば、何人くらいくれば来ているなど評価出来るのか。そんな風なことも色々話題に出してもらっていいのかなと思います。
- 会長 最低、3 倍は来ると言われます。
- 教育長 それは、新しくなったので、来るだけであって、市の環境の中でどのくらいの目標を持って図書館を運営していけばいいのか。
- そういった中で人をとということになると思います。今市役所の中で、人を 1 人配置することはものすごく難しいです。その中でどう 1 人を確保するかというやり取りをしないといけないので、2 人も 3 人も一片に増えるというのは非常に厳しい状況です。
- 会長 でも、ここがチャンスです。今までも難しいとずっと言われていて、ここを逃すとチャンスはないのではないのでしょうか。家庭でも、ずっと節約の生活をしますが、わが子が都会の大学に行くとなると、貯金を崩したり、もっと節約をしてその子が世の中に出て、ちゃんとした人間になるために大学を希望するならそこに投資しますよね。それと同じで、今図書館を変えないと未来の子ども達、それからシニア。赤ちゃんからお年寄りまで全部が毎日使える施設ってないですよ、図書館しかないです。
- 教育長 だから、戦っていかないといけません。今がチャンスと言っても、なかなか難しい実態があります。県立図書館が今評価されているのは、県立図書館が戦ってきています。県が人をつけて、あれだけのレベルになった訳ではなくて、図書館って役に立つぞと皆に分かっていただいて、充実してきた訳です。だから、そういった戦いが必要になります。
- 「こんなことをやりたいので人を増やしてほしい」「図書館ってすごく役に立つ」。だったら、もっと充実させようと両方がかみ合わないとなかなか難しいです。
- 会長 18 時 30 分で閉館となりますが、ホールで何かイベントがあって、その時に終わった後に図書館を利用して帰りたいという人があるかもしれませんので、イベントの時だけ閉館時間を延ばしてもらった方が良いのではという意見も管理運営委員会の中でありました。
- 図書館協議会としては、図書交流広場の開館時間はこれで良いとしましょうで良いでしょうか。
- 生涯学習課長 あくまでこれをベースに検討するということです。それで決定という訳ではありません。先ほど言われたように委員会の中では、他の図書館で金曜日だけは 20 時までやっているとか、そういった弾力的な運用が新しい施設では出来るのではないかと県立図書館の課長が言っておられました。

会長

今後も図書交流広場について意見がありましたら、事務局までお願いします。

(17:15 閉会)